

米価の大幅下落対策を緊急に求める意見書(案)

長期化するコロナ禍で米の需要が減少し、農協が農家に支払う概算金で1俵(60kg)1万円を下回り、中には前年の半値以下の銘柄もあります。米の平均生産費は1俵1万5千円台を超えており、「このままでは米づくりを続けられない」と悲痛な声が上がっています。この事態を放置すれば、稲作経営は立ちゆかず、米づくりも地域経済も崩壊しかねません。

昨年秋にはすでに過剰在庫が積み上がり、政府はその解消のため21年産米の生産量を前年比36万トン減らすという史上最大の減反拡大指針を掲げました。

しかし、その目標が達成されたにもかかわらず、在庫米が当初見通しを20万トン上回り、民間在庫は適正とされる180万トンを大きく超える219万トンとなり、この過剰在庫分が米価を押し下げています。

政府は20年産米在庫のうち15万トンについて、長期保管と販売支援の方針を打ち出しましたが、これだけでは米価暴落を止めることはできません。

国内生産に減反拡大を強いながら、77万トンもの米輸入を続ける農政にも怒りが高まっています。ミニマムアクセス(最低輸入機会)米の削減・中止に踏み出すべきです。

政府は、米の需給と価格の安定に責任を持ち、生産費を償う米価を実現することです。在庫米を政府が買い取って市場から切り離し、生活困窮者や学生への支援、子ども食堂などでの活用を進めるべきです。

よって、政府において、下記事項の早急な実施を強く要望します。

記

- 1 コロナ禍による過剰在庫分を政府が買い取り、市場から隔離する。
- 2 買い取った米を生活困窮者や学生、子ども食堂などへ大規模に供給する。
- 3 ミニマムアクセス米の輸入を中止する。
- 4 農業者戸別所得補償制度を復活する。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出します。

令和3年 月 日

茨城県議会議員 常井洋治

(提出先)

内閣総理大臣

財務大臣

農林水産大臣

衆議院議長・参議院議長